



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



一已小学校6年生が、豆腐・卵の花づくりに挑戦！！
豆腐の完成時には歓声があがりました♪

→記事の詳細は6ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/
Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を
発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram



JA.HITASORACHI

目次

- JP01まつりで きたそらち産米&野菜販売♪・・・ 2
- デジタル紙芝居で「お米ができるまで」・・・ 4
- 令和5年度 営農組合長・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ATM・窓口営業時間変更のお知らせ・・・・・・ 9

JP01まつりinチ・カ・ホで きたそらち産米&野菜を販売♪



1月26日、27日の2日間、札幌駅前通地下歩行空間にて北海道発掘マガジン「JP01」と連動したイベント「JP01まつりinチ・カ・ホ」が開催され、当JAが出店した。

同イベントは、札幌市の総合商研（株）が同誌最新号の発刊にあわせて開催したPRイベントで、会場では全道各地の市町村などが観光PRをはじめ、米や野菜、加工品など特産品の販売を行った。

当JAは、きたそらち産「ななつぼし」の5合升すくい取り販売を行い、2日間合計240kg（186回）を売り上げた。

また、きたそらち産の「ねばり長いも」「玉ねぎ」「馬鈴薯（とうもろこし）」や、道の駅農産物直売所eciRの人気商品もあわせて販売し、どれも好調な売れ行きだった。青果物については初の出品だったが、保存方法や食べ方などを説明し沢山のお客様にお買い上げ頂いた。

来場者は「1日目にすくい取りで持ち帰ったお米が美味しかったので2日目も来た。今度注文したいと思う」「玉ねぎも長いもも大きいのに安くて驚いた。今夜の晩御飯にします」と話す。



販売部

2月9日は「ふっくりんこの日」！

市内小・中学生にふっくりんこパックご飯をプレゼント

昨年制定された2月9日「ふっくりんこの日」にちなみ、昨年同様ふかがわまい生産組合（伊藤裕美組合長）は深川市内の小・中学生全員にふっくりんこのパックご飯をプレゼントした。当日、伊藤組合長と岡田徹副組合長が一已小学校を訪問し、千石正巳校長へパックご飯の贈呈と報告を行った。

また同日ラ・カンパーニュホテル深川で行われたふかがわまい生産組合総会後に田中昌幸深川市長を招き、パックご飯贈呈式が行われた。

伊藤組合長は「2月9日（ふっく）の日ということで、今年も深川産米ふっくりんこを使用したパックご飯を贈呈させて頂きました。深川米ふっくりんこの美味しさを多くの人に知って頂けたらと思います。」と話した。

田中市長は「生徒達も喜びます。2月9日はふっくりんこの日でもあり、肉（にく）の日でもあります。お肉と一緒に沢山のお米を食べて頂き、元気に育って欲しい」とお礼を述べた。

【販売部 鈴木】





深川産米輸出先 香港「百農舎」へ訪問

販売部

深川市の米の輸出については、深川産米等輸出拡大事業実行委員会（構成員：深川市、ふかがわまい生産組合、JAきたそらち）が主体となって平成29年度のベトナムに始まり、現在は香港への輸出を促進している。

今回、令和5年2月1日から3日の3日間、輸出販売先である香港「百農舎」へ実行委員会より5名、輸出業者であるホクレンと関連会社を含め、合計10名で訪問し、現地での販売状況等の調査及び深川産米のPRを実施した。

今回訪問した「百農舎」は日本産米を使用した「おむすび」を販売する会社で、香港を中心に中国など、現在120店舗を展開。令和4年産の実績ではふかがわまい「ふっくりんこ」を約130t契約している。

百農舎事務所では西田社長より会社の取り組み理念等を説明頂いた。香港では「おむすび」を食べる習慣が無く、事業を拡大するうえで非常に苦労をしたが、日本産米の美味しさを世界に伝えたいという熱い思いが事業拡大に繋がっている。

また香港では「おむすび」はハンバーガーと同じカテゴリー（ファストフード感覚）のものと捉えられており、価格は1個300円から500円程度と日本より高い価格で販売されているが、健康志向が強い香港の人々に「手軽で健康な食べ物」として受け入れられている。

訪問の最後には、更なる契約数量の拡大と産地交流の意向も頂き、今後も継続した取引と交流を約束した。

参加者は「海外で日本と同じようにふかがわまいを「おむすび」として食すことができ、大変感動した。この品質で香港の人に「おむすび」を提供頂ければ、更なる「ふかがわまい」の販売拡大に繋がっていくと思う。産地としても、尚一層生産に努力をしていきたい」と話した。

【販売部 後藤】



「百農舎」社員一同と記念撮影

Instagram・Facebook・Youtubeでもご紹介！



←Youtubeはこちら！

多度志に赤鬼と青鬼登場！！

～子どもたちが豆まき～

**金融
共済部**

2月3日、「たどし認定こども園かぜっこ」の園児10人が、金融共済多度志支所を訪れ、毎年恒例となっている節分の豆まきを行った。

今年は職員2名が『赤鬼』と『青鬼』に扮して子どもたちを出迎えたが、子どもたちは怖がる様子もなく元気な掛け声とともに豆まきを楽しんだ。

豆まき後は、子どもたちにお菓子の詰め合わせをプレゼントし、最後に子どもたちと鬼で仲良く記念撮影を行った。

参加した子どもたちは「（鬼の）顔が丸見えだから怖くない！」「豆食べてもいいよ！お菓子ありがとう！」と笑顔で鬼と話した。



デジタル紙芝居で伝える「お米ができるまで」

農業
振興部

当JAでは、園児や小学校低学年の児童にお米ができるまでの流れをわかりやすく伝えるため、デジタル紙芝居を制作した。

デジタル紙芝居は、生産者が冬に除雪作業を開始してから、秋に稲刈りを行うまでの様子をふかがわまいのキャラクター「こめっち」などJA管内のキャラクターがわかりやすく説明。大人でも楽しめる動画となっている。また、動画で紹介される農作業の様子は全てJA管内の生産者協力のもと撮影されており、子どもたちに地域産業の魅力を伝えることも狙いの一つ。

2月14日、音江中央保育園で、完成したデジタル紙芝居を実際に園児が視聴した。園児は真剣な眼差しでデジタル紙芝居を視聴し、キャラクターの説明箇所では元気に返事をするなど楽しんでいる様子が見られた。

デジタル紙芝居を企画したJA農業振興部営農企画課職員は「冬の除雪から、秋の収穫まで農家の人たちは1年を通して一生懸命お米を作っています。みんなもお米を残さず沢山食べましょう！」と子どもたちに呼びかけた。

また、同園の篠原いずみ園長は「食べ物がないと生きていけないよね、この中から『お米を作ります！』っていう人が増えてくれるととっても嬉しいです」と子どもたちに話した。

このデジタル紙芝居は、今後小学校への出前授業などの食育事業で活用していく。



JAきたそらち女性大学 カレッジあみていえ2期生・3期生 ～いただきますの心を育む～

農業
振興部

2月8日、JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」の2期生第11講及び3期生第6講として「いただきますの心を育む～いただきますカンパニーの取り組み～」と題した講演会がリモート開催され、受講生14名が参加した。

講演会は、出前授業・食育イベントや農場を利用した観光向けのツアーなどで多くの参加者に農業の素晴らしさを伝えている(株)いただきますカンパニー代表取締役 井田芙美子氏を講師に迎えて行われ、「いただきますの心」を育むことについて事業紹介を交えながら講演頂いた。

井田氏は『いただきます』という言葉は、命に感謝をする日本人の美しい心を表した言葉。そんな『いただきますの心』をツアーなどの体験を通して伝えている。畑に行き、実際に歩いて、作物を頂く。生産現場には作物以外にも価値があります」と話した。

参加した受講生は「SNSなどをしていないため、ここで出会えて話が聞けて良かった」「北空知でも同じことができれば」と話す。



深川市農業対策協議会 総会

農業
振興部

農業フォーラム2023・

クリーンライスふかがわ生産販売拡大委員会 共励会表彰

1月26日、ラ・カンパニーホテル深川にて、農業関係団体で組織する深川市農業対策協議会の定期総会が開催され、関係機関など62名が参加した。

開会にあたり遠藤良明本部長は、「コロナウイルス感染症の影響で、世界中の方が行動の制限を余儀なくされ、すべての産業が停滞した影響は計り知れなく、結果、米が消費されずにいる。また、今の世の中では考えられないロシアによるウクライナ侵攻、そして円安の影響によって生活物資が非常に値上がりをしており、我々の生産現場においても肥料、資材など生産努力では補えられないまで値上がりとなっている。最後に追い打ちをかけるような水田活用交付金の見直しによる畑地化への推進、今後の状況下では農地の流動化が懸念され、どのようにして農地として守っていくか、場合によっては地域のコミュニティが崩壊することを懸念している。我々が今できることは、米の消費喚起と、米価の上昇を期待し米の在庫を減らすこと。今後もイベントを中心とした販促活動を展開していきたい」と挨拶した。

議事の前に、「クリーンライスふかがわ生産販売拡大委員会」の共励会表彰が行われ、生産者8名に賞状と記念品が授与された。続いて、深川市農民協議会主催の「農業フォーラム2023」が開催され、同市内の農業関係者117名が参加した。「フリーランス農家から見る農業の可能性」と題し、帯広市出身の小葉松真里氏による基調講演が行われ、「農地を所有する農業者ではなく、農業に携わりたいと思う人は増えている。自身の活動を通じ、農業に対する魅力や価値の再発見をSNSで発信し、農業関係人口を増やす働き方をしていきたい」と伝えた。

〈共励会表彰 受賞生産者〉

【ななつぼしの部】

最優秀賞 加藤 奈三さん (音江地区)

優秀賞 西森 省吾さん (音江地区)

【ふっくりんこの部】

最優秀賞 農事組合法人水源生産組合
(一已地区)

優秀賞 山崎 武則さん (メム地区)

【ゆめびりかの部】

最優秀賞 大井 富与さん (多度志地区)

優秀賞 高瀬 慎司さん (一已地区)

【きらら397の部】

最優秀賞 小田 浩明さん (メム地区)

優秀賞 谷岡 勤さん (納内地区)



深川市農業対策協議会総会



農業フォーラム2023



大豆から豆腐に!!

～一已小学校6年生が豆腐作り～

深川支所

1月30日、2月1日、当JA一已加工室で一已小学校6年生が豆腐と卵の花作り体験を行った。

この取り組みは、一已小学校の総合学習の一環で毎年行われていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できておらず、今回は3年ぶりの開催となった。

2月1日、元イチヤン販売グループ6名の指導のもと、一已小学校6年生の29人が体験を行った。生徒は、同学習の中で大豆の栽培から加工品づくりまでの一連の流れを体験しており、今回の豆腐作りには、生徒が昨年5月に農業センターで播種を行い、10月に脱穀作業を行った大豆（ユキホマレ）を使用している。

体験では、大きな釜を使用してすり潰した大豆を煮るなど生徒同士が協力しながら豆腐作りに挑戦。作業中には「にがりはどうして入れるのか」「本当に豆乳から豆腐になるのか」など積極的に質問をしながら和気あいあいと体験を行った。また、完成した豆腐が見えた際には、大きな歓声が上がるなど楽しんでいる様子も見られた。

参加した生徒は「豆乳は少し甘みがあって美味しかった。自分で作った豆腐を食べるのが楽しみ」「豆腐を作るのは大変だったけどうまく出来てよかった」と笑顔で感想を話した。



令和4年度 永年勤続表彰

1月30日、当JA本所で行われた第14回理事会の席上、令和4年度の永年勤続表彰対象者13名に柏木孝文組合長より表彰状が手渡された。本来、同表彰はJA役職員新年交礼会の席上で行われるが、今年も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から交礼会が中止となったため、当JA役員が一堂に会すこの日、表彰式が行われた。

なお、永年勤続表彰者については右記の通り。



<永年勤続表彰 30年>

佐藤 一久	(農業振興部)
後藤 圭一	(販売部)
平山 直樹	(金融共済部多度志支所)
畑中 聖人	(販売部畜産課)
木島 弘美	(金融共済深川支所金融共済課)
佐々木美香	(金融共済多度志支所金融共済課)
滝谷 佳子	(金融共済梶加内支所金融共済課)
菅井 智乙	(販売部米穀課)
田湯 幹也	(経済部音江給油所)
松本 好人	(経済部多度志整備工場)

<永年勤続表彰 20年>

立花 政志	(青果部付北空知広域農協連)
大西 崇之	(経済部車両機械課)
中川 幹枝	(総務部人事課)

令和5年度 営農組合長										今年度の各地区営農組合長が決まりましたので、お知らせ致します。														
地区名		組 合 名		氏 名		構成員				地区名		組 合 名		氏 名		構成員								
音 江	菊	丘	馬 場 章 次	7		雨 竜	南	盛	武 石 勝 智	30		東	栄	石 橋 章 雄	20		西	加 津 輝 明	22					
	音 江 中 央	澁 谷 英 夫	54	◎	中		央	徳 光	忍	19	○	本	牧	中 野 茂 樹	30	◎	北	友	野 原 康 文	32				
	音 江 西	瀬 川 直 希	36	○	(雨 竜) 計153戸																			
	(音 江) 計119戸																							
× ム	北 東	小 島 聡 一	15	◎	北 竜	碧	水	高 田 幸 喜	19		岩	村	橋 本 哲	20		美 葉	牛 辻 洋 平	26		古	作	前 田 規 文	9	◎
	芽 生	本 山 純 司	21	○		板	谷	高 畑 克 洋	18		西	川	藤 井 啓 二	8		和	川 瀬 崇	13		三	谷	續 木 裕 己	13	○
	南 区	小 畑 幸 洋	22			恵	竜	続 木 享	22		(北 竜) 計148戸													
	北 菊 水	馬 場 一 俊	13																					
	巴	片 桐 章 晴	20																					
	(× ム) 計91戸																							
一 已	一 已 第 1	庄 司 聡	24		幌 加 内	南	幌	宇 野 利 徳 岩 本 浩 人	28	◎	幌	中	村 上 悟 山 内 勝 治	30		幌	里	平 野 利 幸 藤 井 祐	24	○				
	一 已 第 2	道 上 徹	23	○		北	幌	関 口 豪 吉 成 克 彦	14		(幌 加 内) 計96戸													
	一 已 第 3	大 井 賢 太 郎	19																					
	一 已 第 4	安 藤 順 三	25																					
	一 已 第 5	渡 邊 裕 一	22	◎																				
	一 已 第 6	水 谷 政 幸	26	○																				
納 内	納 内	庄 司 俊 光	69	◎	(一 已) 計139戸																			
	(納 内) 計69戸																							
多度志	多 度 志 南	竹 内 誠	43	○																				
	多 度 志 北	光 富 靖 展	35	◎																				
	(多度志) 計78戸																							

◎印は営農組合長連絡協議会代表者です。

○印は営農組合長連絡協議会副代表者です。

営農組合数 38組合 営農組合戸数 893戸

■ ■

■ ■

きたそらち農業教育振興基金 収支報告書

■ ■

篤志者の寄付等からの積立てによって造成されている当ＪＡ農業教育振興基金は、令和5年1月末残高は 9, 850, 251円となっています。

今後においても当ＪＡ組合員教育の実施や地域農業振興のため、優れた農業者の育成を目的として活用させていただきます。

自：令和4年2月1日～至：令和5年1月31日

【収 入】	項 目	金 額	摘 要
	繰越金	9,550,169	令和4年1月31日現在
	寄付金	300,000	東 廣明 様（納内地区）
	その他（貯金利息）	82	
収入合計		9,850,251	
【支 出】	項 目	金 額	摘 要
	農業後継者、新規就農者 育成研修助成	0	本年度該当なし
	支出合計	0	
差引残高		9,850,251	

消費税インボイス制度導入への対応について

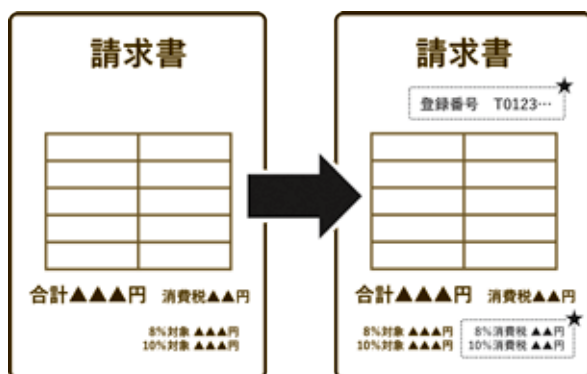
○「適格請求書（インボイス）」とは

- ・売り手が買い手に対して、正確な適用税率や消費税等を伝えるもの。

具体的には、現行の区分記載請求書に「登録番号」「適用税率」および「税率ごとに区分した消費税額等」の記載が追加された書類やデータをいいます。

当広報誌でも、昨年7月号から10月号まで連載でインボイスについてご説明致しましたが、改めて消費税の申告、計算方法の確認、さらにインボイス制度の概要や事業者ごとに必要なインボイス制度への対応について詳しく説明した資料を当JAのホームページへ掲載致しました。

詳しくは当JAホームページの「組合員専用情報」ページからご確認ください。



令和4年度 JAきたそらち太陽光発電所 収支報告 (単位:千円)

項 目	4年度実績	計画対比		前年実績対比		備 考
	金 額	計 画	対 比	金 額	対 比	
R4年度発電収入 ①	22,177	16,697	5,480	22,244	△ 66	R3.12～R4.11発電分
減価償却費	7,532	8,131	△ 598	8,476	△ 943	
償却資産税	751	999	△ 247	860	△ 109	
電気事業税	0	0	0	0	0	
借入金利息	0	845	△ 845	0	0	
その他諸費用	1,328	2,348	△ 1,019	1,148	179	点検費、保険費用、管理費
支出合計 ②	9,612	12,323	△ 2,711	10,485	△ 873	
収 支 ① - ②	12,565	4,373	8,192	11,758	806	



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和5年1月実績

○累計 (R4.12～R5.1)

発電電力 **9,357kwh**

発電電力 **18,544kwh**

計画対比 +1,745kwh

計画対比 △1,962kwh

前年対比 △8,734kwh

前年対比 △14,241kwh

営業時間変更のお知らせ

【金融共済部】

4月からATMの稼働時間が下記の通りとなります。

	ATM稼働時間（4月1日～10月31日）		
	平 日	土曜日	日曜日・祝日
イ チ ヤ ン 本 所	9:00 ～ 18:00	9:00 ～ 17:00	9:00 ～ 17:00
金 融 共 済 深 川 支 所		9:00 ～ 12:00	稼働しません
金 融 共 済 音 江 支 所	9:00 ～ 17:30		
金 融 共 済 納 内 支 所			
金 融 共 済 多 度 志 支 所			
金 融 共 済 雨 竜 支 所	9:00 ～ 18:00	9:00 ～ 12:00	
金 融 共 済 北 竜 支 所			
北 竜 町COCOWA			
金 融 共 済 幌 加 内 支 所			
	9:00 ～ 17:30		

※各店舗（窓口）の営業時間は

＜イチヤン本所、深川支所、雨竜支所、北竜支所、幌加内支所＞平日9:00～16:00

＜音江支所、納内支所、多度志支所＞

平日（午前の部）9:00～11:30（午後の部）12:30～16:00

（11:30～12:30は昼休み（窓口閉鎖）とさせていただきます）

※祝日の影響により営業を休止させていただく場合がございます。

※くわしくは下記までお問合せください。

金融共済イチヤン本所 TEL:0164-22-6618



【経済部 燃料課】

4月からSSの営業時間が下記の通りとなります。

SS営業時間（4月1日～10月31日）		
セ ル フ	音 江	7:30～19:00
	深 川	
	イチヤン	
フ ル	納 内	8:00～18:00
	多度志	
	北 竜	
	幌加内	

※燃料配送・ガスなどのお問い合わせは下記までご連絡お願い致します

配送センター

TEL:0164-22-7171



(©よい食P)

【資材店舗】

4月から資材店舗の営業時間が下記の通りとなります。

資材店舗営業時間（4月1日～10月31日）		
	平 日	土 曜
本 所	8:00～17:00	8:00～12:00
雨竜・北竜・幌加内	8:30～17:00	8:30～12:00

JAきたそらちでは、組合員・お客様に安心してご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染症対策として以下の対策を行っております。

- 全職員のマスク着用、手洗い、アルコール消毒の徹底
- 各事業所・店舗の入口に消毒液、窓口に飛沫感染防止シートを設置
- 待合場所の椅子の間隔を開けて設置

ご不便とご迷惑をお掛けしますが、来所・来店される皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

農業振興部からのお知らせ

情報配信サービス 『JAコネクト』について

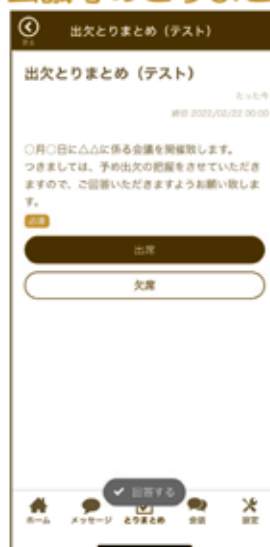
令和4年6月より新しい情報配信サービスとして『JAコネクト』を導入致しました。今までFAXで受け取っていた情報が、スマホでいつでもどこでも情報を受け取ることができます。組合員の皆様の利便性向上のため、ぜひご利用ください。

JAコネクトとは

- FAXで送られているJAからの情報（技術情報や会議案内など）をスマホやタブレット、パソコンのアプリで閲覧することができます。
- 会議の出欠回答などをアプリ上で返信することができます。
- 瞬時に文書の確認が可能
- 会議等のとりまとめ返信



今までFAXで送られてきた文書は画像で閲覧が可能のため、スマホで瞬時に確認することができます。



会議の出欠回答などのとりまとめについては、アプリ上で回答することが可能となります。今までのFAX返信や電話での連絡が不要になります。

- 個人・グループごとにFAXのON/OFFが設定が可能



設定ページから、個人・参加グループ単位にFAXのON/OFFが切り替えることができます。FAXをOFFにするとアプリのみの受け取りとなるため、紙代の節約に繋がります。

申込方法

- ご利用の申し込みは、JA本所農業振興部営農企画課までご連絡下さい。
- 申し込みいただいた方には、後日ログインに必要な情報を記載した「アカウント通知書」と「JAコネクト操作マニュアル」を郵送致します。

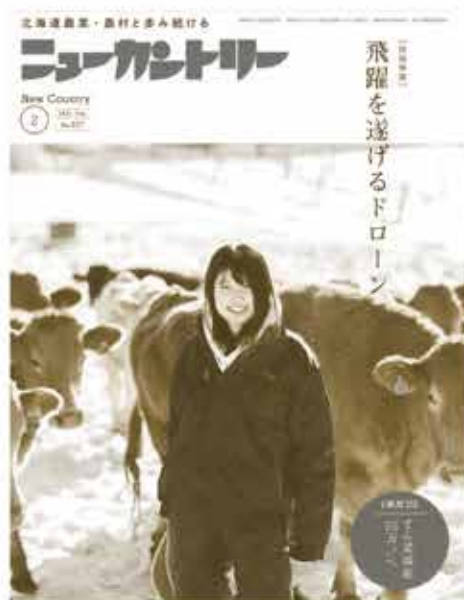
【お問い合わせ・申込先】

- 本所 農業振興部営農企画課
(TEL: 0164-26-0134)

農業振興部からのお知らせ

農業をリードする北海道の専門誌

ニューカントリー



道内農業者と共に70年。

「潮流」「農政の裏側」コーナーでは最新の農政問題を道内向けに分かりやすく解説。

「技術特集」コーナーでは省力化技術から、湿害対策、野菜収穫機、新規作物など注目技術を紹介。

経営や時事・農政の勉強になる連載から「いきいき夢家族」「マイホーム拝見」「クッキングたいむ」などの農家の生活に密着したコーナー、「農機マニアの徒然日誌」や「健康ダイヤル」「私のオススメ図書」などのコラム・エッセイも好評連載中。

この機会に、ぜひご購入ください。



毎号、最新の技術や情報を提供。



人気コーナーの「マイホーム拝見」。農家ならではの工夫とアイデアが満載。

年間購読料 19,263円(増刊込・年14冊) 税10%込

●通常号 943円 送料154円

●新年号 1,205円 送料205円

●夏増刊号 1,466円 送料134円

●秋増刊号 3,981円 送料205円



こちらの広告を見てお申し込みの方は、初回2ヵ月無料です！

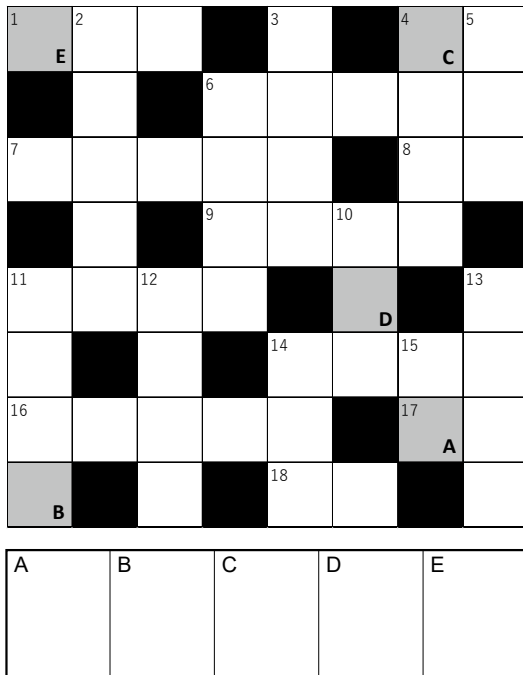
ご注文・お問合せ

農業振興部 営農企画課

TEL:0164-26-0134

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



1月号の正解は

「カガミモチ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 浦山三枝子 様
深川市 桑野かずえ 様
北竜町 深瀬千恵子 様

【タテのカギ】

- 2 はしなどを使わないで、指先でつかんで食べる事
- 3 よく目を通して調べる事。国家が本や映画などの内容を調べる事
- 4 文字を毛筆で正しく美しく書くわざ、芸術
- 5 なげすめること。「不法○○○」
- 6 食用としての豚の肉
- 10 墨を水ですりおろすために使う道具
- 11 貝類の外側をおおう、石灰質のかたいから
- 12 権力者や身分の高い人のそばに仕えること。またその人。
- 13 目的地へつくまでの間。物事がまだ終わらないうち。
- 14 使われる言葉。特定の分野で使う言葉。
- 15 人・車などが往来する所。通路。道路。

【ヨコのカギ】

- 1 動物の尾
- 4 使いみち。「○○不明金」
- 6 文字を使って、まとまった考えや気持ちを書き表したものの。
- 7 読んだ時に充実した満足感が得られること「○○○○○がある」
- 8 粘土を焼成して作った素焼きの容器。「縄文○○」
- 9 日にちの数
- 11 停車駅を少なくし早く目的地に着くようにすること。「○○○○電車」
- 14 目的地に行く途中についでに立ち寄ること。
- 16 生徒を一定の人数に分けた組。クラス。
- 17 病気・けがなどが治ること
- 18 正午から夜の十二時までの間

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切3月31日消印有効で当選者とクイズの答えは令和5年5月号に掲載します。

【送付先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課

FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

二月俳句

●雨電俳句会

ひとつ覚えてひとつ忘れる冬しぐれ
雪山と思ひ屋根から滑る子等
風の中命短し雪の山
雪山を次々滑る兄習い
雪の山狭き車道を譲り合い
運転手身を乗り出して雪の山

●「道」俳句会 北電支部

春霞牛舎の跡の一点に
農日記寒九の雨と太文字で
吊問の足音が哭く雪の道
大寒波何からすべきどうすべき
大寒や耐える形して木々の色
おにぎりの具は鮭が好き母の味
雪原や境界見えぬ村に住み
節分の鬼との写真泣いた顔

●土筆俳句会

画仙紙にかする文字も悴みつ
医院出でふくら雀に囃さるる
神となる御霊は壺に寒に入る
幻惑のすきび悲しき雪おんな
しんしんと魚雷の内部呉の冬
大寒波覚悟の末も身が疎み
豪華船異国の香り春来る
たい焼きの膨れる腹や鬼は外

大林アヤ子
北川 満江
小山 邦男
松木 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

山本 玲子
山岸 正俊
阿部れい子
吉尾 広子
山下 好晴
中島 雅子
宮脇美和子
佐藤美智子

高尾美津子
池田 美知
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
森田裕美子
小橋 厚子

第14回理事会〈令和5年1月30日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 令和4年度12月末推定決算について
5. 財務報告及び事業実績について
6. 職員の人事及び業務事故について
7. 特別香花料の支出について
8. 貸出金の貸付報告について
9. クミカン精算状況について
10. 農地利用効率化等支援交付金及び担い手確保・経営強化支援事業の採択結果について
11. 令和5年産 水田活用予算に係るQ&Aについて

- 議案第1号 組合員の出資金持分譲渡について
 議案第2号 組合員の出資金減口について
 議案第3号 コンプライアンス規程・コンプライアンスマニュアルの一部改正について
 議案第4号 令和5年度経営定期点検の実施計画について

1. 令和5年度役員報酬審議会への諮問について

12. 畑地化に向けての基本指針（案）について
13. 令和5年12月 営農懇談会意見・質問について
14. 米在庫状況について
15. 販売未収金について
16. 令和4年産「ゆめぴりか」買取集荷に係る収支見込について
17. 輸出用米・加工用米の取りまとめ結果について
18. 畜産物の販売状況について
19. 青果・花き集荷販売実績について
20. R5年度農薬価格の設定について
21. 肥料・温材奨励金の支払について
22. 経済部事業実績について

- 議案第5号 職員の期末手当の支給について
 議案第6号 給与規程の一部改正について
 議案第7号 理事に対する貸出承認について
 議案第8号 貸出金の貸付決定について
 議案第9号 農地評価額の見直しについて
 議案第10号 固定資産（広告宣伝車）の取得について

組合員の動き

（令和5年1月末日）

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,293	15	58	1,250
	団体	95	8	1	102
准組合員	個人	5,593	65	181	5,477
	団体	274	1	4	271
正組合員戸数		921	4	32	893



金融共済部からのお知らせ

働けなくなるリスクへの備えに

収入サポート保障

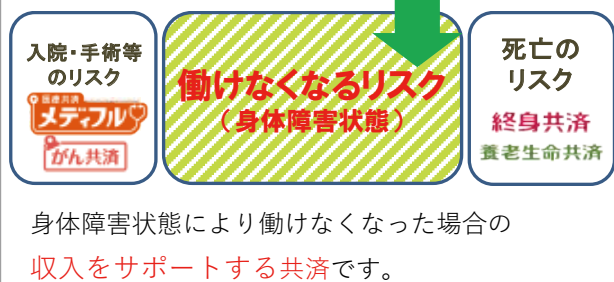


働けなくなるリスクって？

病気・ケガを問わず障害を負って働けなくなった場合、
収入の減少と支出の増加という2つの問題が発生します。



リスクと保障提供イメージ



会社員の場合の収入減少例

収入月額 45 万円で、
配偶者と 2 人の子ども (18 歳の 3 月末までの未婚の子) がいる場合
年間で最大約 320 万円 (-26.7 万円×12 か月) の収入減になります



働けなくなるケースの例

- ケース① 心疾患が原因で心臓ペースメーカーの装着が必要になり、生活活動が著しく制限されることに
- ケース② 糖尿病性腎症により人工透析を受け続けることに
- ケース③ スノーボードで転倒し、下肢を負傷。機能に著しい障害を負うことに

【ご契約例】一時金型・加入年齢35歳・払込終了年齢65歳・共済期間65歳満了・男性・共済金額500万円・口座振替扱い



生活障害共済は、病気やケガによる身体の障害が残ったとき、
収入の減少や支出の増加に備えられる幅広い保障です。
また、公的な制度に連動したわかりやすい保障です。

身体障害者福祉法の身体障害状態に該当し、
その障害に対して、同法にもとづき
1～4 級の身体障害者手帳が交付されたとき

生活障害共済金として **500万円**

ご契約例の場合、

年払共済掛金 **18,464円**

でご加入いただけます！

35歳

65歳

令和4年4月現在

- ※ 継続的な収入減少への備えとして適した定期年金型もラインナップしています。
- ※ この共済には、死亡時における保障はありません。※ 生活障害共済金をお支払いした場合にはご契約は消滅します。
- ※ 責任開始時以後に生じた病気またはケガによる場合に限りです。

JAのライフアドバイザーが詳しくご説明いたします。お気軽にお問い合わせください。



本 所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111 雨 竜 支 所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北 竜 支 所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

【22019990014】

記載のお取扱いについては、令和4年1月末現在の法令等にもとづくものです。当資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書 (契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書 (注意喚起情報)」および「ご契約のおしり・約款」を必ずご覧ください。

■発行/きたそらち農業協同組合 〒074-0015 北海道深川市深川町メム10号線山3線5850番地 TEL 0164 (22) 6600 FAX 0164 (22) 8611
http://www.ja-kitasorachi.com ■編集/農業振興部 営農企画課 ■印刷/株式会社 須田製版